

第1回 岡谷市史編さん委員会 【会議録】

【日時】 令和7年7月3日（木）15時00分～16時30分

【場所】 イルフプラザ3階カルチャーセンター青少年活動室

【出席者】（委員）小口明則委員、草間吉幸委員、小松茂委員、高木千奈美委員、

浜田恵美子委員、林幸夫委員、宮坂春夫委員、大石順子委員、小口隆秀委員

（市教育委員会）宮坂享教育長

（事務局：岡谷市史編さん室）三澤達也室長、秋山仁志主幹、藤森栄太主査、

小池秀昭主査、小林博専門職員、櫻井洋専門職員

【次第】

- 1 開会（三澤室長） 2 委嘱書交付（宮坂教育長から） 3 あいさつ（宮坂教育長）
- 4 自己紹介 5 役員選出 委員長に小口明則委員、副委員長に草間吉幸委員を選出した。
- 6 議事（議長 小口委員長）
 - （1）岡谷市史編さん事業について
 - （2）編さん事業の基本方針案について（3）その他
- 7 その他（事務局より事務連絡） 8 閉会（草間副委員長）

【議事の経過及び発言の要旨】

（1）岡谷市史編さん事業について

①事務局より資料 No.1-1、1-2 に基づき説明した。

②事務局より市の変遷や主な出来事などをパワーポイントで紹介した。

（2）編さん事業の基本方針案について

事務局より資料 No.2 に基づき説明した。

（質疑等）

委員 執筆を業者に委託するというイメージができないが、どういう形になるのか。また、大変な作業になるかと思うが、業者で大丈夫なのか。

事務局 業者の選定を企画提案方式で行う予定。今年度中に業者選定、来年度に契約したい。

専門のライターが資料収集、取材等を行うが、こちらから項目出しのようなことをして、どんな出来事があったかなどを示すことが必要だと考えている。

委員長 仕様書をしっかり作らないといけないと思う。現代史なので新聞等で情報は残っていることから、資料収集は比較的楽だと想像する。業者からは、どういう見せ方をするかということでの提案を議論していくということだと思う。

広く市民に親しまれて、活用される市史というのは、大事なポイントになると思う。それに対してどんな提案がされるかという部分で、かなり議論が必要になるだろうし、職員にも知恵を絞ってもらうところかと思う。

委員 画像が多いと取っつきやすいと思うが、膨大な量になってしまうので、QR コードを載せてWEBで見られるようなやり方も現代的でよいかと思う。

委員長 そういう提案をされる業者も出てくるかもしれない。その一方で、活字も大事にしてもらいたいという、その辺の兼ね合い、好みの違いが出てくると思う。

事務局 先進地を視察した中では、業者委託でなく直営でやっている市もあった。厚い書物が

何編、何編と何冊も作られ、中身は濃い、手元に置いて手軽に見るというものではないという考えもある。そうした本の体裁や文言の使い方、こんな資料が欲しいといったことをどんどん言っていただけたらと思う。

委員 他市のものを見ると、共通しているのは縦書きだということ、横書きがいいという意見もあるかもしれない。写真もカラーであったり白黒であったり。読み物としてはいいが、何かを調べるには難しいものもある。

歴史というのは結果に対して必ず原因がある。岡谷市ばかりでなく国や県の政策があって今の結果が出ているという、そうした事情も載せればいいと思う。ただ、限りがあって難しいかなど、いろいろな思いはある。

委員長 今度の市史は昭和 54 年からという、歴代の市長もご存命、職員や市民もいろいろな感情をお持ちで、いろいろな意見をうまく取り入れていきたいが、あまり裏話的なことは載せられないのではないかなと思う。

委員 大事なことだと思う。井戸を掘った人を忘れるなという言葉があるが、たとえばラオカヤができた当時は駅前が明るくなり、みんなが喜んだ。だから、事実を並べるだけでなく、たとえ一文でもいいから、その時の思いというものがどこかに出てくるような市史がいいと思う。

委員長 駅前再開発も反対などあって大変だった。商業会からのお叱りをいただいたりした。オープンの日には小雪混じりで寒い中でも、すごい行列ができた。大型商業施設を核にした再開発は、ほかでもうまくいかないことが多いことなどを考えると、そうした歴史が将来につながっていくようなものになればいいと思う。

委員 そんなに多くはなくても、どこかに感じられるような部分があっていいと思う。

事務局 業者が書くものは、そこまで踏み込むものではないと思うので、原稿が出てきた段階で加筆して厚みを持たせればいいのかと思う。

事務局 先進地でも、載せていいかどうか迷ったり、賛否両論があったりしたとのこと。トピックスやこぼれ話のような形で載せる方法も一つの案。

委員 すべてのことを載せるというのは難しいことだと思うが、できるだけ広く、取りこぼしのないようにしたい。あとで捨てるのは仕方ないにしても、最初から出さないというのではなく、広く拾っていただけたらいいと思う。

委員長 ひとつの貴重な資料になるものなので、最初はあらゆることを入れていく。それはそれで後世に役立つようになる。

委員 あれもこれも載せたいとなると膨大な量になると思うが、予算の制限や部数など、今の段階で計画があれば教えて欲しい。

事務局 部数や販売をどうするかについては、まだ検討の段階。予算計上もこれからだが、今年の予算は 1400 万、そのうち人件費が 1000 万。来年度から委託料が入ってくる。他市では 3000 万～4000 万というレベルの委託料。

委員長 こちらから業者に対して、こんなイメージでお願いをし、それに対して業者側がいくらかかるというのと、逆にこちらからいくらでお願いをするというのでは、だいぶ変わってくる。また、いくらで販売をして何冊売れるかといったことも財源としては考えないといけない。市内でも、その辺を詰めてもらえばいいと思う。

今日の議題は、次回に継続して審議をすることにしたい。

(3) その他

事務局 次回は基本方針についての最終的なご意見をいただき、委員会としての決定をしたい。
また、業者選定に向けての説明をさせていただきたい。

次回の日程は8月22日(金)午後4時からお願いしたい。